

# 土川先生に呈するの書

在大阪 竹 村

一

## ●土川先生、

私は先生が一度律動遊戯をみに來よといふ御案内をうけたのは昨年の夏頃であつたと憶えてゐます。

その時は丁度公務多忙にて其機を得ずそのまゝに過ぎてゐました、處が本年の七月西區有志の保姆諸姉發起で二回目の講習會があつた時に私は初めて親しく先生の遊戯を拜見いたしました、そして私は此秋再神戸へ先生の實際的教授を拜見にまゐりました。

## ●土川先生、

私が先生に對して何とかと批評を試みるといふ事は實に無禮千萬な事と思召すかは存じませぬが、私はたい感想として一言二言の發言を與へ

て下さるのを御許し下さい、否かうした手紙を差上るのを許して下さい。

第一集では私は何となしに直覺的にいやな西洋臭いダンスの變てこなものだといふ感じがいたしました、第二集になつて私の心に、しつとりとした然も自然的な更に日本化した處のいくらかを發見する事が出來ました、先生が在來の遊戯の缺陷に着眼されて更にダンスの型に全然入りもせないで一種の遊戯を創案さるゝまでの経路が私はよく唄はれました。

食物の消化——吸収——營養テイヨウとなるまでには何でも相當の時日と努力とを要します。

律動遊戯も今日では全然土川先生の心より湧く自然の詩潮がリズムになつた様に思ふ様になり

ました。

### ●土川先生、

私は先生の遊戯といふ一つの尊敬すべき教育の  
一方法、更に言ひ換ふるならば眞面目なる生活  
の一面である。遊戯に對する態度の何時の講習  
會の時にでも變らぬ眞面目さを體得してゐなさ  
る事に對して私は實に敬服の外は御座りません。  
之に反して往々習ふ方の人々の中に稍眞面目さ  
を缺いでゐるのが見られました、従つてリズム  
といふ事の觀念を全然没却した人がある爲に時  
に全體を破壊する事がある様に思はれました。  
子供に教ふる時も同様でリズムといふ事を全然  
腦中におかないでやつてゐる保母には此遊戯は  
全く零ゼロである様に思ひます、如何で御座りませ  
うか。

### ●土川先生、

私は更にかういふ事を考へました、此律動遊戯  
の前に少くとも四肢の運動練習及跳躍位は準備

演習として行つて於いてはどうかと思ひまし  
た。

一體人間の筋肉といふものは一定の練習を經た  
後はその運動が容易くなり且力がはひるもので  
あります。

例へばテニスを一度もした事のない人がラツケ  
ットを握つてボールを打つた處で力がいらいぬ  
は勿論の事手が思ふ様に動かないものです。

それ故は私は律動遊戯といふ事の前に準備的身  
體の練習を必要だと思ひました。

### ●土川先生、

私は多くの保母諸姉なり小學校の女教員諸君な  
りの中に遊戯に於て運動する其肢又は軀幹なり  
の部分的の運動作用に付ての智識が或は稍不足  
してゐはしまいかと考へられた點が多々ありま  
した。

例へば水平に手を左右にひろげてこそ目的の部  
位の筋肉が目的の様に動くのであるのか、は

らず、ずつと水平以下稍下垂しかけた態度で左右に上肢をひろげた處でそれは目的の筋肉は少しも運動してゐない事が往々あると思ひます。然し之は一定のリズムに合して運動を連續してゐる時に殊更に角張つた體操の様に行ふのは全くリズムに合はなくなる爲に、私は此基本的運動とそれに伴ふ筋肉の運動なり生理的見解なりを充分體得さして然る後に自然にリズムに合して運動を行ふた時に曲線的に行はるゝ様な具合にはゆかないものでせうかと考へられました。

### ●土川先生、

私は在來の日本に於ける體操程無興味のものはないと思ひます、競技といふ興味ある運動を忘れて例へば瑞典式體操でも全く一時間つゞけ様にやらされた時には、私は實に兒童は半死の狀態になりはしまいかと思はれます。

多くの人は在來の體操程無興味の面白くないものはないと云つてゐる、殊に體操専門家でも時

時此言を洩らしてゐるのを耳にします。

興味なしの事をどうして兒童が自ら好んでやるでせう、精神的方面の教育に興味が必要であつて、身體的教育にどうして興味が必要ないという事があるでせうか。

興味は強制的に起す事は出來ないでせう、興味は兒童自身の心より湧く時に力ありよき効果を生むものでありませう。

この意味に於て私は律動遊戯は小學校の兒童にも充分應用してよき運動であると思ひました。身體の多くの部分の筋肉がよく運動し且上體のみとか、下體のみとかに偏せない點は大にうれしく思ひました、只關節とか骨端の充分に發達してゐない幼兒に向つて行ふ場合にはよく細心の注意を以て律動遊戯集一二の中より二三は全然採用せぬ様にしたならば如何かと思ひました。

### ●土川先生、

こゝに私の暴言の愚を許して下さい、終りにただ現在の各國の兒童の運動問題がやかましくなつて來た時に、一面在來の學校體操に對して、興味深き運動競技が漸次その範圍を擴大しつつある今日更に一面遊戯の表情的獨專の夢を破つて身體運動を尊重したる然も興味ある律動遊戯が生れて來たといふ事は實によろこばしい事であり、創案者たる先生の益々健康にして更に一步の努力を、しまれざらん事を切に祈る次第であります。——(七、十二、十五)——

### ○机邊より (二)

……生垣に沿うて枯枝が落ちて居ると、「果<sup>は</sup>な、これは何だらう」と考へて見る、これは魔法の杖だなあ。もし細長ければ槍となり、劍となる、それを振りまはすと、地の中から兵隊が湧いて來る。クリストフは、其大將になつて眞先に進んで横<sup>はん</sup>範を示して、小丘の攻撃にと向ふ。若し杖が挽め易ければ鞭になる、そしてクリストフは馬に乗つた氣になつて断崖から断崖へと飛んで行く。何うかすると其馬が、すべつて、騎士が泥底に倒れ、汚れた手と、すりむいた膝とを悲しげに眺めて居る。拾つた杖が柔らかだと彼は樂隊長になりましたり、自ら樂隊になつた氣になつて調子をとつたり歌つたりして、叢に挨拶をする。叢は縁の頭を風に動かして居る。……(81頁へ)